

研究名「当科で施行された輪状軟骨開窓術症例の検討」

①背景

外科的気道確保の方法の一つとして、輪状軟骨開窓（切開）術が 2007 年より提唱されるようになってきました。日本気管食道科学会刊行の「外科的気道マニュアル 第2版」にも記載のある手術方法であり、喉頭低位、肥満・短頸、頸部伸展困難、甲状腺疾患、腕頭動脈高位などの理由で通常の位置での気管切開術が困難な場合の選択肢となる位置づけとなっています。

②目的

当科においても対象症例を選んで、外科的気道確保の一つとして輪状軟骨開窓術を施行しています。その有用性や特徴について検討することが本研究の目的です。

③方法

2018年8月から2024年3月までに、当科で輪状軟骨開窓術を施行した症例、および同時期に気管切開術を施行した症例が対象となります。診療録から、年齢、性別、基礎疾患、外科的気道確保の必要の理由、術式選択の理由、麻酔方法、早期・晩期合併症、転帰等のデータを収集し、統計学的手法で解析を行います。実施にあたり東北労災病院の医学倫理審査委員会の審査を受け、適切な研究であると承認されています。

④データの取り扱いと個人への利益・不利益について

使用する情報は個人を特定できない形で抽出され、対象者の個人情報が増えることはありません。研究結果は、個人が特定できない形式を用いて論文等で発表されます。また、本研究は介入を伴わない後ろ向き観察研究のため、研究の対象となる個人の負担や利益・不利益はありません。

⑤問い合わせ先

本研究の対象となる方で診療情報の使用を希望されない場合、またはご不明な点がある場合は、下記までご連絡ください。診療情報の使用を拒否される場合も、患者に不利益が生じることはありません。

(問い合わせの窓口)

郵便番号 981-8563 仙台市青葉区台原 4-3-21 東北労災病院

電話 022-275-1111

研究代表者：耳鼻咽喉科 渡邊健一